



2024年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年5月14日

上場会社名 石井食品株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2894 URL <https://www.ishiifood.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 石井 智康
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部 マネージャー (氏名) 村上 樹生 TEL 047 (774) 8748
 定時株主総会開催予定日 2024年6月25日 配当支払開始予定日 2024年6月26日
 有価証券報告書提出予定日 2024年6月25日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期の連結業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	10,492	9.9	413	88.4	457	78.4	471	52.6
2023年3月期	9,549	8.1	219	181.1	256	154.6	308	—

(注) 包括利益 2024年3月期 652百万円 (76.5%) 2023年3月期 369百万円 (—)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	28.07	—	15.0	6.2	3.9
2023年3月期	18.30	—	11.4	4.0	2.3

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 ー百万円 2023年3月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	8,095	3,421	42.3	205.18
2023年3月期	6,707	2,876	42.9	170.43

(参考) 自己資本 2024年3月期 3,421百万円 2023年3月期 2,876百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	1,247	△611	△122	2,458
2023年3月期	341	△545	125	1,944

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00	50	16.4	1.9
2024年3月期	—	0.00	—	4.00	4.00	66	14.3	2.1
2025年3月期(予想)	—	0.00	—	4.00	4.00		40.4	

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,710	2.1	250	△39.6	280	△38.8	165	△65.0	9.89

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名）、除外 ー社 （社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
② ①以外の会計方針の変更：無
③ 会計上の見積りの変更：無
④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数

2024年3月期	18,392,000株	2023年3月期	18,392,000株
2024年3月期	1,714,998株	2023年3月期	1,514,997株
2024年3月期	16,800,079株	2023年3月期	16,877,003株

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年3月期の個別業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	10,329	9.5	405	73.1	443	76.6	457	46.7
2023年3月期	9,436	7.9	234	129.7	250	188.2	312	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期	27.25	—
2023年3月期	18.50	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	円 銭	
2024年3月期	8,050	3,462	3,462	2,974	43.0	207.62	176.25	
2023年3月期	6,685	2,974	2,974	2,974	44.5	176.25	176.25	

(参考) 自己資本 2024年3月期 3,462百万円 2023年3月期 2,974百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来の記述等に関するご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料は、2024年5月14日にTDnetで開示するとともに、当社ウェブサイトにも掲載いたします。

(<https://www.ishiifood.co.jp>)

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(連結損益計算書)	7
(連結包括利益計算書)	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大による行動制限の緩和が一層進み、経済活動の正常化による個人消費持ち直しの動きが見られました。しかしながら、長期化するウクライナ情勢及び緊迫化する中東情勢を背景とした資源・資材価格の高騰やエネルギー価格の高止まりが続いているほか、物価上昇や為替変動による景気への影響が懸念されるなど、先行き不透明な状況が継続しております。

このような環境のもと、主力商品である食肉加工品につきましては、積極的な営業活動や根強いファンに支えられ売上高は好調に推移いたしました。中でも、ミートボールにつきましては、2024年に販売開始50周年を迎えたことを記念した「ミートボール50th感謝大容量セット」や春のお弁当まつりキャンペーンなどさまざまな施策の展開により売り場を確保・活性化することができたほか、各種プライベートブランド商品につきましても価格改定を実施し利益率改善を講じつつ販売数量も堅調に推移したことから、売上高は増加いたしました。地域商品につきましては、各地域の旬の素材を活かしたハンバーグシリーズを中心に、地域交流イベントに参加し生産者と一体となった販売促進を行ったほか、主力商品と併せた商品導入を推進し新規取扱店が増加したことにより売上高は増加いたしました。一方で、正月料理につきましては、年末年始におけるライフスタイルの多様化への対応を試みたものの、原価高騰による価格上昇が影響し売上高は減少いたしました。

また、コスト面につきましては、持続的な組織力向上を実現するために必要な人財の採用及び賃金上昇の気運や生活防衛の観点から2年続けてベースアップを実施したことにより人件費が増加しております。その他、製造設備の更新投資や修繕、調達・販売における重要取引先との関係強化を目的とした交流や販売促進施策を積極的に実施したことにより各種経費は増加しております。一方で、水道光熱費及び燃料費につきましては依然高騰しているものの、前年同時期の単価比較では下落に転じたこと及び使用量削減に取り組んだことにより減少いたしました。

この結果、当連結会計年度における売上高は前年同期比9億42百万円増の104億92百万円となり、売上総利益は前年同期比5億27百万円増の35億48百万円となりました。

販売費及び一般管理費は、前年同期比3億33百万円増の31億35百万円となり、4億13百万円の営業利益（前年同期比1億94百万円増）となりました。

これに営業外収益65百万円、営業外費用21百万円を加減した結果、4億57百万円の経常利益（前年同期比2億0百万円増）となり、特別利益に補助金収入等1億11百万円、特別損失に固定資産処分損7百万円、減損損失39百万円を計上した結果、税金等調整前当期純利益は5億22百万円（前年同期比2億38百万円増）となりました。

また、今後の業績動向を勘案し、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、回収可能性のある部分について繰延税金資産を計上することとし、法人税等調整額△32百万円を計上した結果、法人税等合計が51百万円となり、親会社株主に帰属する当期純利益は4億71百万円（前年同期比1億62百万円増）となりました。

製品別及びチャネル別業績の概況は、次のとおりであります。

（単位：千円）

製品別売上高	前連結会計年度 (2022. 4. 1～2023. 3. 31)		当連結会計年度 (2023. 4. 1～2024. 3. 31)		比較増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	前年同期比
		%		%		%
食肉加工品 (ハンバーグ・ミートボール他)	8,051,901	84.3	9,020,628	86.0	968,727	112.0
惣菜	619,135	6.5	565,287	5.4	△53,847	91.3
正月料理	299,264	3.1	268,147	2.5	△31,116	89.6
地域商品	284,667	3.0	344,172	3.3	59,504	120.9
非常食	201,984	2.1	198,849	1.9	△3,134	98.4
配慮食 (食物アレルギー・減塩他)	48,907	0.5	41,673	0.4	△7,234	85.2
その他	43,780	0.5	53,262	0.5	9,481	121.7
合計	9,549,641	100.0	10,492,021	100.0	942,380	109.9

（単位：千円）

チャンネル別売上高	前連結会計年度 (2022. 4. 1～2023. 3. 31)		当連結会計年度 (2023. 4. 1～2024. 3. 31)		比較増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	前年 同期比
		%		%		%
量販店（スーパーマーケット他）	7,974,091	83.5	8,565,171	81.6	591,079	107.4
質販店（百貨店他）・生協	1,050,177	11.0	1,071,796	10.2	21,619	102.1
飲食店・宅配・官公庁	269,207	2.8	477,196	4.6	207,988	177.3
直販	256,164	2.7	377,857	3.6	121,692	147.5
合計	9,549,641	100.0	10,492,021	100.0	942,380	109.9

食肉加工品は、2022年10月に実施した一部商品の価格改定後、無添加調理などの価値訴求に加え、季節や時機に合わせた営業活動の展開により売り場を確保し、販売単価の上昇を売上高増加に繋げることができました。特に、これまで苦戦していた夏場のお弁当需要の変化に着目し、子ども向けでは学童保育や部活動、大人向けでは物価上昇に伴うランチからの転換等、お弁当ニーズが高まっていることを捉え、営業活動に反映したことにより価格改定後の売り場を確保することができ、主力商品の売上高が増加しました。また、「イシイのミートボール×うたのおねえさん小野あつこさんお料理応援キャンペーン」や「春のお弁当まつりキャンペーン」などの販売促進施策を積極的に展開したことで、売上高は前年同期比で12.0%増加いたしました。

惣菜部門では、原材料高騰や調達環境の悪化に加え、生産拠点の合理化などの要因でごぼうサラダの減産があったことにより、売上高は前年同期比で8.7%減少いたしました。一方で、「イシイの佰にぎり」シリーズは堅調に推移しており、既存の3種に加え新たに「やさしいシリーズ」として2種を販売開始いたしました。そのほか、素材本来の風味を生かした地域のまぜごはんの素シリーズにつきましては、新たにとうもろこし・さつまいも、黒豆をラインナップに加え地域と旬の展開が進んでおります。

正月料理は、年末年始におけるライフスタイルの多様化が一層進む中で、大勢で楽しめる3段重タイプから個食タイプのお重おせち「迎春小箱」、栗きんとん・黒豆などの単品商品まで展開しましたが、原価高騰による価格上昇が影響し売上高は前年同期比で10.4%減少いたしました。「農と食卓をつなぐ」をテーマとして、生産者とのつながりが見える素材の厳選とストーリーの表現、紙風船等の付録を同梱して家族・友人と一緒に楽しめるお正月の体験を演出するなど、新たな付加価値づくりを進めております。

地域商品は、日本の各地域の生産者や行政との連携がさらに深まり、食材と季節商品の強化が進んでおり、売上高は前年同期比で20.9%増加いたしました。中でも地域と旬の食材を活かしたハンバーグシリーズにつきましては、販売促進・新規取扱店増加による売上高増加に加え、「神奈川三浦のキャベツを使ったハンバーグトマトソース（ロールキャベツ風）」から、株式会社TBMと共同開発した環境配慮素材「LIMEX」を含んだ包材を使用し、本格的な市場での採用をスタートしました。プラスチック使用量、温室効果ガス排出量の削減が見込まれるなど、環境負荷軽減にも取り組んでおります。

（2）当期の財政状態の概況

（資産）

流動資産は、前連結会計年度末の37億19百万円に対し、7億81百万円増の45億1百万円（前年同期比21.0%増）となりました。主な要因は、現金及び預金の増加、売掛金の増加であります。

固定資産は、前連結会計年度末の29億88百万円に対し、6億5百万円増の35億94百万円（前年同期比20.3%増）となりました。主な要因は、機械装置及び運搬具の増加、無形固定資産の増加、投資有価証券の増加であります。

この結果、総資産は前連結会計年度末の67億7百万円に対し、13億87百万円増の80億95百万円（前年同期比20.7%増）となりました。

（負債）

流動負債は、前連結会計年度末の31億94百万円に対し、8億8百万円増の40億2百万円（前年同期比25.3%増）となりました。主な要因は、買掛金の増加、未払金の増加、未払費用の増加であります。

固定負債は、前連結会計年度末の6億37百万円に対し、33百万円増の6億71百万円（前年同期比5.3%増）となりました。主な要因は、退職給付に係る負債の増加、リース債務の増加であります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末の38億31百万円に対し、8億42百万円増の46億73百万円（前年同期比22.0%増）となりました。

（純資産）

純資産合計は、前連結会計年度末の28億76百万円に対し、5億45百万円増の34億21百万円（前年同期比19.0%増）となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する当期純利益の計上、配当金の支払、その他有価証券評価差額金の増加であります。

（3）当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ5億13百万円増加し、24億58百万円（前年同期比26.4%増）となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度の営業活動により増加した資金は12億47百万円（前年同期は3億41百万円の増加）となりました。主な要因は、税金等調整前当期純利益の計上、減価償却費の計上、その他の負債の増加であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度の投資活動により減少した資金は6億11百万円（前年同期は5億45百万円の減少）となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出、無形固定資産の取得による支出であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度の財務活動により減少した資金は1億22百万円（前年同期は1億25百万円の増加）となりました。主な要因は、短期借入れによる収入、短期借入金の返済による支出、自己株式の取得による支出、配当金の支払額であります。

（4）今後の見通し

今後の見通しにつきましては、物価上昇や為替変動のほか金融政策の見通しも含めた景気への影響要素が先行き不透明な状況であるなか、原材料費及びエネルギー費用のさらなる高騰が見込まれており、予断を許さない経営環境となっております。

売上高につきましては、主力商品であるミートボールが販売開始50周年を迎えることを機会として、これまでの感謝とさらなる周知を図る営業活動を行うほか、常温品の販路拡大を図ることにより、売上高107億10百万円を見込んでおります。

コスト面につきましては、原材料費の高騰が予想され為替変動もリスク要因となりうること、エネルギー費用は再度高騰する見込みであること、設備の更新投資を進めたこと及びソフトウェアの本格稼働により減価償却費が増加する見込みであること等から、製造コストは増加する見込みです。

人件費につきましては、人的資本への投資観点及び物価上昇に対する生活防衛の観点から3年連続のベースアップ実施により増加する見込みです。以上を踏まえ、2025年3月期は営業利益2億50百万円、経常利益2億80百万円、親会社株主に帰属する当期純利益1億65百万円を予想しております。

また、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。業績予想等に著しい変動が生じた場合には、速やかに開示いたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,944,510	2,458,313
売掛金	1,414,360	1,723,510
商品及び製品	94,719	68,029
仕掛品	15,031	9,922
原材料及び貯蔵品	172,694	180,759
その他	78,472	60,889
流動資産合計	3,719,789	4,501,425
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,754,518	8,768,171
減価償却累計額	△8,288,455	△8,311,050
建物及び構築物（純額）	466,063	457,120
機械装置及び運搬具	6,990,940	6,886,663
減価償却累計額	△6,498,916	△6,091,467
機械装置及び運搬具（純額）	492,024	795,196
工具、器具及び備品	416,928	430,263
減価償却累計額	△390,163	△388,299
工具、器具及び備品（純額）	26,765	41,963
土地	809,029	809,029
リース資産	154,142	161,973
減価償却累計額	△137,113	△121,108
リース資産（純額）	17,028	40,864
建設仮勘定	867	34,394
有形固定資産合計	1,811,779	2,178,570
無形固定資産	382,972	451,497
投資その他の資産		
投資有価証券	507,977	706,447
繰延税金資産	49,552	21,951
その他	281,058	280,833
貸倒引当金	△45,200	△45,200
投資その他の資産合計	793,388	964,033
固定資産合計	2,988,140	3,594,100
資産合計	6,707,929	8,095,525

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	325,290	630,134
短期借入金	1,900,000	1,900,000
リース債務	12,677	12,130
未払費用	623,265	1,006,078
未払法人税等	80,030	69,261
未払消費税等	17,372	14,670
賞与引当金	81,878	105,963
その他	153,745	264,413
流動負債合計	3,194,260	4,002,653
固定負債		
リース債務	9,843	34,353
退職給付に係る負債	603,046	613,858
資産除去債務	22,990	22,715
その他	1,400	107
固定負債合計	637,280	671,034
負債合計	3,831,541	4,673,688
純資産の部		
株主資本		
資本金	919,600	919,600
資本剰余金	672,801	672,801
利益剰余金	1,613,259	2,034,140
自己株式	△310,806	△367,007
株主資本合計	2,894,854	3,259,535
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	90,063	226,868
退職給付に係る調整累計額	△108,530	△64,566
その他の包括利益累計額合計	△18,466	162,302
純資産合計	2,876,388	3,421,837
負債純資産合計	6,707,929	8,095,525

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	9,549,641	10,492,021
売上原価	6,528,516	6,943,084
売上総利益	3,021,124	3,548,936
販売費及び一般管理費	2,801,570	3,135,338
営業利益	219,553	413,598
営業外収益		
受取利息	9	265
受取配当金	14,150	16,182
受取賃貸料	5,083	5,253
廃油売却益	36,092	32,376
助成金収入	2,066	671
その他	9,364	10,692
営業外収益合計	66,767	65,442
営業外費用		
支払利息	8,119	8,256
棚卸資産廃棄損	20,142	12,622
その他	1,836	967
営業外費用合計	30,099	21,846
経常利益	256,221	457,194
特別利益		
固定資産売却益	9,078	—
補助金収入	—	100,487
受取保険金	78,916	11,324
特別利益合計	87,995	111,811
特別損失		
固定資産処分損	4,150	7,111
減損損失	15,055	39,100
災害による損失	40,285	—
特別損失合計	59,490	46,212
税金等調整前当期純利益	284,726	522,793
法人税、住民税及び事業税	64,172	83,353
法人税等調整額	△88,346	△32,071
法人税等合計	△24,173	51,281
当期純利益	308,899	471,511
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	308,899	471,511

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益	308,899	471,511
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	35,296	136,804
退職給付に係る調整額	25,393	43,964
その他の包括利益合計	60,690	180,769
包括利益	369,589	652,280
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	369,589	652,280
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	919,600	672,801	1,354,991	△310,806	2,636,586
当期変動額					
剰余金の配当			△50,631		△50,631
親会社株主に帰属する 当期純利益			308,899		308,899
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）					
当期変動額合計	—	—	258,268	△0	258,267
当期末残高	919,600	672,801	1,613,259	△310,806	2,894,854

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	54,767	△133,923	△79,156	2,557,430
当期変動額				
剰余金の配当				△50,631
親会社株主に帰属する 当期純利益				308,899
自己株式の取得				△0
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	35,296	25,393	60,690	60,690
当期変動額合計	35,296	25,393	60,690	318,958
当期末残高	90,063	△108,530	△18,466	2,876,388

当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	919,600	672,801	1,613,259	△310,806	2,894,854
当期変動額					
剰余金の配当			△50,631		△50,631
親会社株主に帰属する 当期純利益			471,511		471,511
自己株式の取得				△56,200	△56,200
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	—	420,880	△56,200	364,680
当期末残高	919,600	672,801	2,034,140	△367,007	3,259,535

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	90,063	△108,530	△18,466	2,876,388
当期変動額				
剰余金の配当				△50,631
親会社株主に帰属する 当期純利益				471,511
自己株式の取得				△56,200
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	136,804	43,964	180,769	180,769
当期変動額合計	136,804	43,964	180,769	545,449
当期末残高	226,868	△64,566	162,302	3,421,837

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	284,726	522,793
減価償却費	192,582	262,104
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△1,580	—
賞与引当金の増減額（△は減少）	△334	24,085
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	50,060	54,775
受取利息及び受取配当金	△14,160	△16,448
支払利息	8,119	8,256
助成金収入	△2,066	△671
補助金収入	—	△100,487
受取保険金	△78,916	△11,324
災害による損失	40,285	—
固定資産売却損益（△は益）	△9,078	—
固定資産処分損益（△は益）	4,150	7,111
減損損失	15,055	39,100
売上債権の増減額（△は増加）	△143,382	△309,149
棚卸資産の増減額（△は増加）	△56,907	23,733
仕入債務の増減額（△は減少）	18,200	304,843
未払法人税等（外形標準課税）の増減額 （△は減少）	2,576	1,363
未払又は未収消費税等の増減額	△18,302	△9,918
その他	43,269	399,154
小計	334,298	1,199,324
利息及び配当金の受取額	12,722	15,300
利息の支払額	△8,119	△8,256
助成金の受取額	2,066	671
補助金の受取額	—	100,487
保険金の受取額	54,579	35,660
災害による損失の支払額	△35,519	—
法人税等の還付額	1,715	—
法人税等の支払額	△20,296	△95,485
営業活動によるキャッシュ・フロー	341,446	1,247,702
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△200,000	—
投資有価証券の取得による支出	△2,286	△1,992
有形固定資産の売却による収入	11,542	—
有形固定資産の取得による支出	△223,320	△519,305
無形固定資産の取得による支出	△133,642	△89,833
その他	1,933	△298
投資活動によるキャッシュ・フロー	△545,773	△611,430
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,900,000	1,900,000
短期借入金の返済による支出	△1,700,000	△1,900,000
リース債務の返済による支出	△23,945	△15,637
自己株式の取得による支出	△0	△56,200
配当金の支払額	△50,631	△50,631
財務活動によるキャッシュ・フロー	125,422	△122,468
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△78,904	513,803
現金及び現金同等物の期首残高	2,023,414	1,944,510
現金及び現金同等物の期末残高	1,944,510	2,458,313

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、食品事業の単一セグメントであるため記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	170.43円	205.18円
1株当たり当期純利益	18.30円	28.07円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	308,899	471,511
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益 (千円)	308,899	471,511
普通株式の期中平均株式数 (株)	16,877,003	16,800,079

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
純資産額の部の合計額 (千円)	2,876,388	3,421,837
純資産の部の合計額から控除する金額 (千円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額 (千円)	2,876,388	3,421,837
1株当たり純資産額の算定に用いられた 普通株式の数 (株)	16,877,003	16,677,002

(重要な後発事象)

該当事項はありません。